

NPO法人 自立生活センター STEPえどがわ 会報

STEPっ子パラダイス

all for ワ
ダフォー!!

えぬピーおーほうじん
じりつせいかつせんたー
すてっぷえどがわ
かいほう
すてっこばらだいす
おーるふあわんだふおー

ねん がつごう
2005年3月号



いま 今さらですが、皆さん、明けましておめでとうございます。この冬は、雪が
よく降ったような気がします。大晦日、外出した時、私は初めて雪が積もった
中を車椅子で歩きました。私は嬉しくて、わざと雪のある所を踏んだりして
たんだけど、固まった雪にガツン！と突っ込んでしまったり、斜面では横滑りし
たり、ヒヤヒヤしながら楽しみました。でも、寒い地方の車椅子の人は雪が積も
ったらどうしているんだろう？きっと、雪解けを心待ちにしているんだろうな。
もう春はすぐそこ！春の楽しみ方、考えよう！！

グランドデザイン勉強会報告とその後の動向

いまむら のぼる
今村 登

<勉強会報告>

昨年12月24日。障害者保健福祉施策＝グランドデザイン案について、D P I 日本会議事務局 長：尾上浩二氏を講師に招き、緊急勉強会を開催した。告知期間も短く、クリスマス・イブの夕方開催という日程にもかかわらず、約50名の方の参加を頂いた。また、当方の利用者さんのみでなく、施設入所者の方々にも多くご参加頂き、質疑応答の時間には、

- 就労の機会も所得保障も不十分な中で応益負担はひどい！
- どの誰にどう働きかけていけばいいのか？
- こんな重要な改革を、こういう機会がなければ知ることもなく決定されていってしまうやり方に憤りを感じる！

など、応益負担への不安を筆頭に、施設に居ても居なくても、安心して暮らせなくなりそうな不安を爆発させていた。

<その後の動向>

グランドデザイン案は『障害者自立支援法』と名を変え、障害者団体の根強い反対と、十分な議論と協議の場の設定要求をよそに、残念ながら2月8日に閣議決定され国会に上程された。つまり、今国会で審議されることになり、ここで採択されてしまうと正式に法案が決定されるのである。そうすると今年の10月から医療費の精神障害者の通院医療に関する公費負担制度が見直されるために、自己負担が急増し、平成18年1月から月額で最高4万200円を負担上限とし、所得に応じ2万4600円、1万5000円、生活保護受給者は無料という『応益負担』と、障害者の地域での自立生活を判断する専門家とは到底思えないメンバー構成がささやかれる『認定審査会』による長時間介護の是非の判定が実施されるらしい。

現在各地で勉強会等が開催され、問題点を明確にすると共に、政治家らへの

はたら おこ いじょうせち がら よ なか しんし たいおう
働きかけが行なわれている。これ以上世知辛い世の中にしないよう、真摯な対応
のぞ
を望む。

ぐらんどでざいん じりつしえんほう き よ ねーみんぐ であっても、
なんびょうしゃなど せいど はざま ひとひと なん か こんかい あげんすと なんびょう
難病者等、制度の狭間にいる人々は何ら変わりはない。今回、「AGAINST：難病
ひと ちいき じりつせいかつ かくりつ かい じりつしえんほう たい ていげん
をもつ人の地域自立生活を確立する会」より、この自立支援法に対する提言を
きこう ぜ ひいつしょ かんが もんだい
寄稿いただいた。是非一緒になって考えていきたい問題である！

あげいんすと なんびょう ひと ちいき じりつせいかつ かくりつ かい ていげん ～AGAINST：難病をもつ人の地域自立生活を確立する会～からの提言

しきゅうけつてい ぶろ せ す ふとうめいか しょうがいしゃ じりつしえんほう すす
支給決定プロセスの不透明化が障害者自立支援法では進む！

ふとうめい ていどくぶん もんだい <不透明な程度区分の問題>

けんとう しょうがいしゃ じりつしえんほう しょうがいしゃ ていどくぶん しょうがいしゃ ひつよう
検討されている障害者自立支援法の障害者程度区分で障害者の必要とす
る支援を計ることができるのだろうか。介護保険の要介護認定は介護員が
じょうちゅう とくよう にゅうしょ かつ たいしょう しんべん じりつ きほん
常駐した特養に入所されている方を対象に身近自立を基本としてつくられ
たものであり、地域で生活する障害者の年齢、ライフステージに応じた必要な
しえん はあく しょうがいしゃ じりつしえんほう しょうがいしゃ ていどくぶん しょうがいしゃ ひつよう
支援を把握するためにつくられたものではない。要介護認定にもとづいた程度
くぶん ちいき せいかつ しょうがいしゃ じゅんよう さい こうもく せつてい こうもく せいかつ
区分を地域で生活する障害者に準用する際の、項目設定やこの項目は生活
ぜんたい なか なんてん てんすうか こんきよ いま
全体の中で何点であるといった点数化の根拠はどこにあるのだろう。今までの
ところ、どのような しえん しゃくど ひつよう じっさいりよう とうじしゃ
の十分な協議もされていない。にもかかわらず介護保険の要介護認定を準用
した障害者程度区分が用いられるのであれば、まったくそぐわない尺度で生活
はか しょうがいしゃ ていどくぶん もち しゃくど せいかつ
を計られることになる。しかも、そぐわない きじゅん はか あ ぶぶん
は国の福祉からも外れると同時に、国庫補助基準からも外れ、自治体の
も だ たいおう よそう しきゅうけつてい とうめいか
持ち出しで対応しなければならないことも予想される。支給決定の透明化をす
るのであれば、しょうがいしゃ せいかつぜんたい あき こんきよ ふとうめい
障害者の生活全体を明らかにしないままに、根拠のない不透明
しょうがいしゃ ていどくぶん しょうがいしゃ ふ わ じゅうぶん じかん
な障害者程度区分で障害者を振り分けるべきではない。充分時間をかけた、
とうじしゃ きょうぎ ひつよう
当事者との協議が必要だ。

ふとうめい しんさかい ふとうめい <不透明な審査会でさらに不透明に>

ふとうめい しょうがいしゃ ていどくぶん いちじはんてい あと がいどう ひていけいてき
不透明な障害者程度区分で一次判定された後、該当しない非定型的なものに

対しては審査会に意見を聞くこととしている。もともとの障害者程度区分が
実態に見合っていないとすれば、本当は必要とされている支援も該当しな
いと判定されることが予想される。さらに、該当しないと判定された必要とす
る支援を、障害者の生活を知らないメンバーによって審議される案となってい
る。医師や歯科医師は当然、医療や歯科に関しては専門家であるが障害者の
生活の専門家ではない。障害者の生活を良く知らない、別の分野の専門家が、
一次判定ではじかれてしまった本当は必要とされる支援を、その場限りの書類
をもとにした一時の審査で判定し、施策に繋げていくことができるだろうか。
画一的な判定で計れない必要とする支援にこそ、人間らしい生活を送る上で
重要な福祉がある。障害者の生活を一番知る専門家は障害当事者であり、
当事者の支給決定への参加を保障するべきだ。障害者の生活を知らない他分野
の専門家に審査会で判定されれば、不透明感は増すばかりだ。必要とする支援が
2段階にわたって否定される可能性は大きい。

<狭間の問題、一律の基準で計れないもの（社会参加）は福祉ではないのか？>
難病のように、症状が複雑で一人一人の個人差がある者を一律の基準で
計れるかも疑問だ。なかなか一律の基準で計れないからこそ、困難さも多く、
原因も不明で難病といわれている。難病だけではない、93年の障害者
基本法の付帯決議に掲げられた、てんかんや高次機能障害、自閉症、アスペルガ
ーLDといったいわゆる発達障害もIQや身辺自立に傾斜した障害者認定
といった一律の基準ではなかなか計ることができず福祉の狭間にあり続けてい
る。又、一人一人個人差のある社会参加も一律の基準では計ることができない。
個々の人の置かれている環境、ニーズは違う。違って当然だろう。食事の時間
になれば、みな財布の中身と相談し、食べたいものを、それぞれの人が、いろ
いろな場所へ食べに行く。誰にでも保障されるあたりまえの生活の一つだ。そ
れが数値化できない、するのが難しいから福祉から外されるといった暴論を
許してはならない。ソーシャルワークはどこへ行ったのだろう。環境がこれだ
け急激に変化すれば、環境要因との相互関係で規定される障害の形態も変化
し、必要とする支援も変わる。ソーシャルワークがないがしろにされた画一的な
支給決定では生まれてきた新たなニーズ、必要とする支援が施策になかなか
フィードバックされない。すぐに制度疲労を起こすことになり、そのたびに
継ぎはぎされる予算は相当なものになるだろう。

利用する当事者の参加した、人と人との協議が尊重され、権限がもたされれば、
数値化しなくとも支給決定はできる。支援費制度で尊重されてきた
ソーシャルワークの理念が尊重されず、画一的で数値化されたもののみが福祉と
されるなら狭間はさらに広がり（現在対象となり、利用する支援においても狭間
は生まれ、広がる）、画一的な制度に障害者の生活を押し込めることになる。

AGAINST：難病をもつ人の地域自立生活を確立する会

<<私たちの会は>>

当会は、様々な疾病、症状（難治性疾患克服研究事業の疾患にとどまらず）
をもち、社会生活を送るうえで何らかの障害をもつ人が権利主体として地域
で自立した生活ができるよう、権利擁護活動、諸施策への提言、他障害者団体
との連携を通じて、総合的な社会福祉施策の再構築を目的とする会です。

<<会の設立>>

制度により区分された「難病患者」や「障害者」という既存の枠組みでは、必要
とする福祉を利用出来ないという、制度の狭間に埋もれた人や、利用してい
ても当たり前の生活を送ることが出来ないという問題をかかえている人な
ど、様々な当事者が会の目的に賛同して集まり、2004年8月28日「難病を
もつ人の地域自立生活を確立する会」を設立しました。

事務局 〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷2-3-17-201 担当 池上智子
TEL・FAX:03-3983-7690 Mail: tomoko_ikegami@yahoo.co.jp



だいいっかい すてっふ すてっふ ことし まるまる
第一回STEP!STEP! 今年は〇〇な…
 すべじかる くりすます ほうこく
Special X'masはーていー！！報告

まるた きみえ
 丸田 君枝

さくねん がっ にち しゅく とうぶ ふれん ど ほーる くりすます ばーてい かいさい
 昨年12月23日（祝）東部フレンドホールにてクリスマスパーティを開催しま
 した。参加者は、総勢37名。顔なじみの仲間や初めてSTEPに関わり参加して
 くれた方、遠くから足を運んでくれた方、たくさんの仲間に囲まれて、とても
 嬉しく楽しい時間を過ごせました♪そして、参加条件は、ワンポイント仮装！
 皆さん、嬉しい（？）やら恥ずかしいやら...でも、普段と違う自分になること
 って、チョット気持ちよかった！と、感じた人も少なくないかなあ？と思います。
 げーむ み に ら い ぶ まんさい ようす しゃしん たの
 ゲームやミニライブも満載！！その様子は、写真にてお楽しみください。



わいわい、がやがや！ご歓談～♪



だいねつしょう ひ が た ひろう いただ
 大熱唱！弾き語りを披露して頂きました。

ゆめ 夢の？！ しまい せつし ゃん じつげん
 姉妹セッション実現！



不正解！残念っ！！
って、そんな企画あったっけ？！



さあ！みんな！
のりのりでブギウギだぜい？！



華麗なドレスでフルート演奏♪



ピアノ&トランペットセッション！
迫力あるライブでした！



マツケン&...？&ヨン様
う、う〜ん...

ぼく、ゆうと怪獣！
強いんだよ！





事務局 長、仮装は...??
全身?...じゃないよね。(汗)



私だけのサンタさん☆
なあって!キヤッ!!*(^o^)*



ピンゴ! 運命はゆうとくんに
委ねられました!!



STEP社賞トリオです。



☆みんなで...メリークリスマス☆

色々手伝ってくれた方、盛り上げてくれた皆さん、ありがとうございました
た!!また今年のパーティもたくさんの仲間のご参加、楽しみにしています★

こんなんみつけました!!

2005 mar No.8

編集:NPO法人自立生活センターSTEPえどがわ
〒132-0065 東京都江戸川区南篠崎町3-9-7-1F
TEL:03-3676-7422 FAX:03-3676-7425

<http://www.step-edogawa.com/>

でんどうくるま えき う い じえいあーるとう か い 電動車いす36駅で受け入れ JR東海

じえいあーるとう か い がつ か な ご や え き
J R 東海は 2月12日、名古屋駅など
ざいらいせん えき しんたい しょうがいしゃ しょう
在来線36駅で、身体障害者が使用する
は ん ど る がたでんどうくるま の い がつ
「ハンドル形電動車いす」の乗り入れを3月か
ら認めると発表した。

どうしゃ じゅうりょう おも かいてんはんけい おお
同社は「重量が重く回転半径が大きいため、
ほか じょうきやく こんらん まね ぜんえきいちりつ
他の乗客の混乱を招く」とし、全駅一律に、
は ん ど る がたでんどうくるま じょうきやく う い
ハンドル形電動車いすの乗客を受け入れて
いなかった。

ほうむしょう さくねん がつ いちりつ しょう みと
しかし法務省が昨年12月、「一律に使用を認
めないのは人権侵害に当たる」と勧告したこと
を受け、同社は、段差を解消しエレベーターを
設置した
せっち ざいらいせんえき う い き
設置した
な ご や はまつ ぎ ふ えき がつ にち
名古屋、浜松、岐阜など35駅で3月1日から、
おかざきえき どう みと
岡崎駅は同19日から認められる。

は ん ど る がたでんどうくるまいす でんどう しゅうくるまいす まつばつえ ふつう ある ひと あし
「ハンドル型電動車椅子」も電動・手動車椅子も松葉杖も普通に歩いている人の「足」も、
ぜんぶおな あし いどうしゅだん じゅうりょう おも かいてんはんけい おお
全部同じ「足」、ただの移動手段である。それを「重量が重い」だの「回転半径が大きい」
だの、なんの理由にもなりやしない。もし、自分が体重がかなり重く、横幅も取り、振り返
る度にいちいち場所を取る、そんな体格で、乗車拒否されたらどう?これは明らかに人権
しんがい たび ばしょ と たいかく じょうしやくよひ あき じんけん
侵害だ。それと全く同じ。機械のような金属の塊に乗っているからといって、「モノ扱い」
しないでもらいたい。どんな状態であっても「人格」を認めてもらいたい。背の低い人に
しーくれつブーツがあり、視力が低い人にメガネがあるように、歩けない人たちに車椅子
ひつよう かつよう
がある。必要だから活用しているだけだから。

さいきん みんかん ろせんばす すどれっチャーがたくるまいす じょうしやくよひ みぢか
最近、民間の路線バスで、「ストレッチャー型車椅子」の乗車拒否が身近であった。しか
も最初はOKをもらい、利用していたのに、ある日突然に。「ストレッチャーでは安全面が
かくは ひとづせん あんぜん かくは い み ふめい
確保できない。」らしい。ある日突然、安全を確保できなくなったのか?意味不明。
すどれっチャー い わけ すどれっチャーがたくるまいす かつよう
「ストレッチャー」がどこかへ行きたい訳ではない。ストレッチャー型車椅子を活用してい
る「人」がどこかへ行きたいのだ。

こんかい じえいあーるとう か い こうきょうこうつうきかん いっこく はや きべつ じんけんしんがい
今回の J R 東海のように、どんな公共交通機関でも、一刻も早く、差別、人権侵害を
なくし、だれ だらく しゃかいさんか よ なか
誰でもどこでも気軽に社会参加できるような世の中になってほしい。

じ ごう は 6 がつ はっ こう 発行です。

＜仮設トイレ＞5分で組み立てOK 静岡の業者開発

災害時の避難所生活などで障害者らへの負担が指摘される中、静岡県にある社員3人の会社が車椅子でも利用しやすい移動式仮設トイレを考案した。5分で組み立てられ、障害者の声を取り入れた。発売約1カ月だが、購入した自治体も出ている。

トイレを開発したのは浜松市の「エムズジャパン」(松井 満 社長)。同社は建築資材の販売が本業。製品化のきっかけは、松井社長と札幌市の建築家、米木英雄さん(66)との出会だった。米木さんの三男(30)は82年に交通事故のため車椅子生活となり、米木さんが自宅トイレを改造した。

この経験から、米木さんは大手トイレメーカーに障害者も使えるトイレの開発案を持ち込んだが反応は芳しくなく、入院生活でトイレに苦労した経験を持つ松井社長が製品化を引き受けた。

米木さんや三男の助言を受け、98年に「札幌式トイレ」が完成。便器の周りが左右

対称の三角形の天板で囲まれ、左右どちらからでも天板に座ることができる。手すりも可動式で、左右どちらの半身まひにも対応できるようにした。

一昨年、災害用品を扱う販売会社から障害者向け災害用仮設トイレの製造依頼を受けた。松井社長も「札幌式」をベースに改良を始めた。

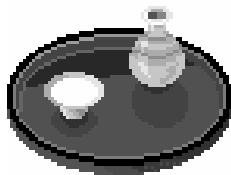
昨年末に誕生した「移動型仮設トイレ」の形状は札幌式と同じだが、移動を考慮し重量を従来の5分の1の約32キロにした。周囲を覆うテントを含めても64キロで、ワンタッチ式で組み立てられる。東海地震が想定される愛知県岡崎市は発売と同時に11セットを導入し、他の自治体からも問い合わせが相次いでいる。価格は1セット26万5000円。

米木さんは「障害者は非常時には健常者以上に負担が大きい。このようなトイレが広まれば障害者には大きな福音になる」と話している。

災害は近年、多いように感じるが、昔からあるはず。そして、災害時には誰もが被災者となるが、日常的にもトイレ探しに苦労する障害者が災害時に苦労しないわけがない。このように災害時用車椅子トイレができ、やっとな障害を持つ者に目を向けられるようになったことは、嬉しい事である。街の中でも最近では、車椅子でも使えるトイレが増えてきた。でも、明らかに当事者抜きで造られたようなトイレも多い。車椅子のまま入れない、便座が異様に低い、便座と洗面台の位置が悪い、手すりが固定されている、多いのは背もたれがない所など。軽度な障害を持つ人のことは考えられているのかもしれない、と感じることが多い。重度な人の意見を聞いて造れば、きっと誰も困らないと思う。私の個人的な願望を言うと、一回百円で利用できる移動リフトが設置されていると有り難い。日常的にも災害時にも、さらに利用しやすいトイレが増えていったら欲しい。そしてせっかく災害時用車椅子トイレが出来たのだから、各自自治体で検討し、万が一の時の為に導入を図ってもらいたい。生理的現象は、健常者、障害者、日常時、災害時、みんな変わりなくあるものですから。

あんな人、こんな人、どんな人？

20代後半のヘルパーNさん、20代前半のヘルパーSさん、私のある日の会話です。洋服の話をしていました。20代後半のヘルパーNさんが『タートルネック』の事をつい、『とっくり』と言ってしまいました。「古う～！！」と笑っていたら、20代前半のヘルパーSさんは「『とっくり』ってなんですかあ？」・・・そ、そっかあ、このくらいの年の子には、笑いにもならないんだ・・・ははっ。（自爆）



別の日、また別の20代後半のヘルパーNさんに「『とっくり』って知ってる？」と聞いてみました。すると、

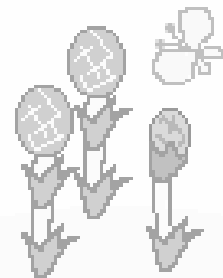
「知ってますよぉ！あのお酒入れるヤツでしょ！！」

・・・確かに。でも、一番にそっちかいっ！！（ー ー;;

色々な人生観を垣間見ることが出来ました。はい。

◆◆ 利用者MARUちゃんのちょっと思うところ ◆◆

私は去年10月から手動車椅子を使い始めました。電動車椅子に乗り始めたのは5年チョット前。手動車椅子では物足りなくなり、乗り始めた電動車椅子ですが、やはり障害の進行によって筋力が低下し、コントローラーの操作自体が厳しく、危険を感じるようになって来たのです。進行するのが目に見える時って、切ないけど、どうしようもないね。。。顎や頭、呼吸での操作方法も首の筋力が弱い私には危険だと思い、試してはいませんが、どうなんでしょうね？誰か実際に使ってる人、教えてください。



ま、そんなこんなで手動車椅子を使い始めて思ったお話 をします。まず、電

動のように力を込めてコントローラーを操作しなくて、腰や背中や肩の疲れ具合は減ったけど、自分の思った方向に思い通り向けない歯がゆさがモノスゴイ！！細かい向きや動きまではいくら慣れてるヘルパーさんでも伝わりにくいものです。でも、基本的に人と会話をするときって、皆さんどうしますか？たぶん、特に狭い場所でなければ、お互いの顔や目を見れる位置で会話すると思います。「人と会話する時は相手の目を見て話さない。」小さい頃、よく言われました。お店などでも真正面とは言わずとも、それに近い斜め位置にいる方が商品も見やすいし、店員さんとも話しやすいはず。だけど、それに気付いていない人も多くいるようで、ほとんどの人が真横に近い位置に車椅子を付けようとします。わざわざ真横について、顔だけ見たい方へ向いて話をしたりって、出来ない事もないけど、かなり不自然だと思うのは、私だけでしょうか？こんな事もあります。道端で知り合いに話しかけられたりってよくありますよね？挨拶程度なら、立ち止まらなくてもいいかと思いますが、「MARUさん、久しぶりー！最近どうです？」と会話らしきものが始まっているのに、止まりもしないでそのまま進行方向へ…こういう場合でも「止まれ」の指示がないと止まらないの？挨拶だけか会話か判断は難しいだろうけど、明らかに会話をしようとしてる雰囲気の時でも立ち止まらない人が多い気がします。例え、止まってもヘルパーさんの知り合いでもあれば、ヘルパーさんだけがその相手の方を向いて「あー！元気ですかー？」って挨拶していたり…すごく不思議に思います。こうなると「自分の知り合いじゃないと止まらないの？」って、思いたくなくなってしまいます。主体性はどこにあるんだろう？？って、感じます。もうひとつ、よくあるのが「あっ！あそこに☆☆って書いてありますよ。あれでいいんですかね？」って…「あれ」って何？「あそこ」ってどこ？右？左？前？後ろ？後ろ方面なら、車椅子動かしてくれないと見えないんですけどお…みたいな状態。後ろからもちろんヘルパーさんは話しかけるので、「あそこ」や「あっち、こっち」ではわからないのは当たり前。車椅子を押している都合上、目を見て話すのは不可能なわけだから、お互いいつもよりきちんと伝えることを意識しないとイケないなあと、感じますね。特に筋力が弱い障害の人は、横にも向きにくいし、視野に入りにくいものを見る時は首も目も疲れやすいのです。その辺のコトは付き合っている中である程度伝わっていくものだと思う私って甘いかな？もちろん言葉でも伝えていますが、基本的には「人と人」の付き合いです。

まず、介助^{かいじょ}をする「自分^{じぶん}」の場合^{ばあい}はどうだろう？って改^{あらた}めて考^{かんが}え、感^{かん}じ、そして介助^{かいじょ}を必要^{ひつよう}とする「その人^{ひと}」がどうすれば人^{ひと}と話^{はな}しやすいか、ものを見^みやすいかがわかってくるはず^{めせん}です。だって、目線^{めせん}が違^{ちが}うだけであ^なとは何^かも変わ^からない。

車椅子^{くるまいす}の基本^{きほん}操^{そう}作^さを覚^{おぼ}える、安全^{あんぜん}に押^おす、指^し示^じのあ^ちった目^も的^{てき}地^ちへ着^{ちゃく}実^{じつ}に向^むかう事^{こと}も大^{だい}事^じなコト^{こと}ですが、そこ^{ここ}に「心^き、キモチ^{もち}」がな^{ない}いと快^{かい}適^{てき}に介助^{かいじょ}を受け入^うれられな^いと思^{おも}います。車椅子^{くるまいす}を押^おしてもら^{もら}うコト^{こと}は、た^ただ単^{たん}に「運^{はこ}んでもら^{もら}っている」わけではありませ^ない。思^{おも}いがけず人^{ひと}と会^あって会^{かい}話^わをする、気^きになるア^{あく}クセ^せサ^さリ^りー^ーをみ^みつけ合^あわせ^あて^てみる、道^{みち}端^{はた}で咲^さいて^る花^{はな}を見^みつけ立^たち止^どまる、そ^{こと}んな事^あも当^また^たり前^のに楽^{たの}しみた^いい^のです。

「じりつ」のススメ

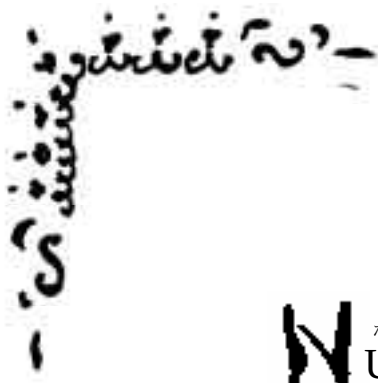
なかにしともこ
中西智子

「じりつの^{すすめ}ススメ」に^{ふさわ}相応しいのかは別として、^{わたし}私は^{がつ}2月から^{ねんがん}念願の^{ひとりぐ}一人暮らしを^{はじ}始めました！^{ひとりぐ}一人暮らしを^{おも}しようと思った^{りゆう}理由としては、^{しごとじょう}仕事上^{じかん}時間が^{ふきそく}不規則なのもあって、^{ひとり}一人の^{じかん}時間を^す好きなように^{おも}過ごしたいと思ったのが^ききっかけです。

^ひいざ^こ引っ越そうと思ったとき、^{おも}場所や^{ばしょ}間取り・^{まど}家賃・^{やちん}交通の^{こうつう}便等、^{べんなど}調べる^{しら}事が^{こと}沢山^{たくさん}あって^{こと}わからない^{じりつ}事だらけだったのですが、^{せい}さすがは「^{じりつ}自立生活^{せんたー}センター」！^{まわ}周りには^{ひとりぐ}一人暮らしを^{かた}している^{たす}方ばかりなので^{たす}助かりました☆
^{まど}間取りに対して^{たい}大体^{だいたい}どれくらい^{やちん}の家賃^{また}なのか。又、^{かね}どのくらい^たお金を^か貯めてい^よれば^な良いのか^な等^な多くの^{じょうほう}情報^{ぶじひ}を^こもらい^{こと}無事^{でき}引っ越す^{こと}事が^{でき}出来ました。

ここからは主婦の^{しゅふ}知恵！^{ちえ}電化製品^{でんかせいひん}の^か買う^{こつ}コツや^{つか}使い方^{かた}、^{せつやくほうほうなど}節約方法等、^{おとな}「大人^{おとな}って^{かんしん}すごえ！」って^{かんしん}関心^{ほか}することが^{ほか}たくさん☆^{かいじょ}その他にも、^{はい}介助^{りようしゃ}で入る^{りようしゃ}利用者さん^{おも}宅で「これっていいかも♪」って^{こと}思った^{おし}事は^{おし}教えてもらったりしました！(^-^)

やっぱ、^{なに}何を^{じょうほう}するにも^{じかん}情報^{ひつよう}と^{おも}時間^{おも}が必要^{こと}だ^{おし}なって^{おし}思います(-_-;) ^{じょうほう}情報^{いとうけ}が^なな^なきや^な何も^なわからないし、^{さき}先に^{すす}進め^{すす}ない^{すす}ですから^{すす}ねえ(^-^;) あとは、『伊藤家の^{しょくたく}食卓』や『スパスパ』、『トリビアの^{すばすば}泉』(個人的に^{とりびあ}大好き♡)等、^{いずみ}使える^{こじんてき}知識^{だいす}と^ななど^{つか}つか^{ちしき}使える^{ちしき}知識^{ちしき}と^{むだちしき}無駄知識^とを^いいっぱい^{たの}取り^{せい}入れたら^{せいかつ}楽しく^{でき}生活^{おも}が出来^{おも}るかなと思^{おも}っている^{おも}ところ^{おも}です(*^^)v



な ー す

URSE いちかわのヘルスコーナ

へる す こー なー

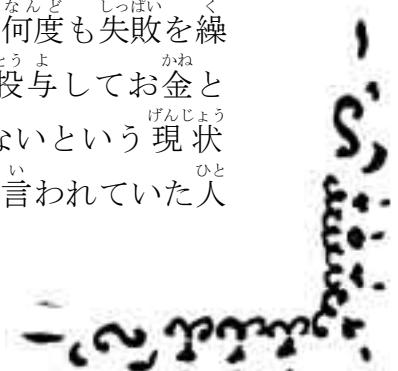
いちかわ ひろ み

市川 寛美



先日事務所に「全国の筋疾患の障害をもつ人たちへ。」という1枚の文書が送られてきました。その内容は「デュシェンヌ型筋ジストロフィーの着床前診断が承認され、診断により障害が認められるものは『要らない命』と選別されるようになる」といった事に対し、筋疾患の障害をもつ方が「『障害者』＝『不幸』と決めつけ命の選別をすることは権利侵害だ。」と、ご本人の思い・怒りを書かれていたものでした。筋疾患をお持ちの障害当事者にしたら、自分の命を「要らない命」と言われ、時代が違えば「この世に存在していなかった可能性がある」という恐怖さえ感じることでしょう。

私はこの記事を見て違った意味で恐怖と怒りの感情を抱きました。「着床前診断」という言葉の意味がお分かりでしょうか？似た言葉で「出生前診断」というものがあります。これは妊娠した母体の血液や羊水を採取して遺伝子を調べ異常の有無を調べる方法です。妊娠5ヶ月経ってからの検査なのでもし異常が見つかって中絶は母体に危険が伴い大がかりなものになるので、「命の選別」というよりは障害児を受け入れる準備として考える人もいるでしょう。いっぽう、「着床前診断」というのは自然妊娠ではおこなうことができません。普通、月経が来なくて「あれ、妊娠かな？」と思った時にはとくに着床しているのです。その前に調べるという事は、体外受精といって精子と卵子を医学的処置で体外に取り出し受精させ、細胞分裂を確認して母体に戻すのですが、（昔、試験管ベビーと言われていたヤツです）戻す前の段階で調べるのです。近頃ニュースなどで体外受精のことは耳にする機会も多くなったかと思いますが、けて成功率は高いものではなく何度も失敗を繰り返しそれでもずっと病院に通い続け大量のホルモン剤を投与してお金と時間ばかりかかり精神的に追いつめられてしまう人が少なくないという現状があります。それでもこの技術ができたことで妊娠できないと言われていた人



でもその可能性ができた人も多く、不妊症の人にとっては苦しいながらも有難い技術ではあります。

つまり着床前診断が認められるということはある意味、そんな体外受精を推奨するという事でもあると思うのです。普通、不妊症でいろいろな治療をしてもなかなか妊娠に至らない人が最終手段として選択する治療なのに、「障害児が生まれたり困る」という理由で自然妊娠できる人までこの治療を選ぶ（勧められてしまう）ことが出来るという事になりかねないのです。

体外受精を否定するつもりは無いのですが、私は過去に治療経験がありもう2度と受けたくはないと思っています。「子供は天からの授かりもの、神の領域で人間が手を加える事は許されない・・・」なんて言うつもりはないですが、この治療を通して「命って何なんだろう、人間ってどこから人間なんだろう」とか「家族・親子・先祖、そして“家”ってなんだろう」とか、医療というもののに対する嫌悪感を抱いたのもこれがきっかけでした。

これからどんどん医療が進んでいくことでしょう。筋ジストロフィーに認められたら時を待たずして直ぐ他の先天性疾患にも認められるでしょう。そして挙句「癌になりにくい遺伝子」とか「太りにくい遺伝子」とかいろいろ発見されてより優秀と言われる遺伝子を残すよう、妊娠は体外受精が当たり前・・・なんていう時代も起こり得る気がします。話が飛躍しすぎかもしれませんが・・・。

私が体外受精をした当時（多分今も）1度に卵をたくさんとってたくさん受精させ、そのうちの最大3個（戻したすべてが妊娠する可能性があるので母体が耐えられるであろう数として3個までと決められています）を子宮に戻し、残りは状態の良いものは冷凍保存します。私の場合4個の受精卵ができました。

「3個戻すのでどれにしますか？」と写真を見せられました。「何を基準にどうやって選ぶの？」暫く答えが出せませんでした。

もし、ここで着床前診断という技術があったら、4個の遺伝子を調べてより優秀そうなモノを選んでいたかもしれません。（結局選ぶことが出来ず、4つ子が生まれる覚悟で全部戻しましたが妊娠できなかったんですけどね。）

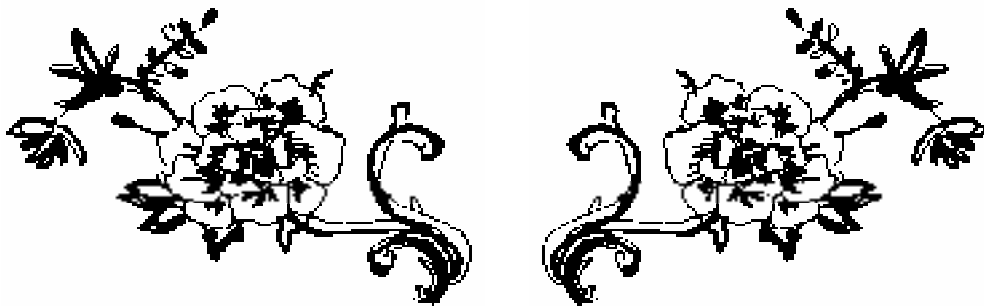
ふにんちりょう げんば すうじゅうまん すうひやくまん ばあい すうせんまん ひよう
不妊治療の現場では、数十万から数百万、場合によっては数千万という費用をかけて治療をします。ここまで苦勞するからこそ五体満足な子供であって欲しい という声をよく聞きます。その気持ちがわからないわけではありません。

そう思うことは今の日本では（今じゃなくても 日本じゃなくても・・・かな？）
ある意味自然な発想かもしれません。

でも、だからといってこの技術が進んでいっては欲しくないのです。

その前に日本の医療に一番欠けているカウンセリングをもっと充実させ、多くの情報を提供して様々な選択肢の中から自分で選ぶという事、そして選んだ道を自信を持って歩めるという事にもっと力を注いで欲しいと思います。

いろんな人がいていろんな価値観があって、だから人間なんだし、だから人間や
ってておもしろいんだし……。そんなふうにみんなが思える社会であって欲しい
い・・・そんなふうに思っています。



福祉機器・介護用品・住宅改造のお問合わせは
お気軽に当店まで！ 自社工場完備で修理・改造がすぐ！

— 福祉機器のトータルプランナー —

有限会社 **パムツク**



江戸川区新堀1丁目25番1号

（レンタル車いす・車いす保険も取扱っております）

TEL03(5666)4801 | FAX03(5666)4802



たいけん るーむ りょう 「体験ルームを利用して」

かいづか まな
貝塚 麻名



こんにちは貝塚麻名で～す！！去年の4月からCCM第1作業所で箸入れの
しごと
仕事をしていますさい
19才です！！

たいけん るーむ
体験ルームは3回使いました。かいづか
家族とはなれて、なに
何をしようかかんが
えたり
へる ばー
ヘルパーさんとごはんのかいづか
買い物にいてす
好きなものをりょうり
料理したり、と
泊まったつぎ
次の
ひ
日は、でんしゃ
電車に乗ってで
出かけたり、たいけん るーむ
体験ルームに泊まるひ
日がいつもとてもと
てもたの
楽しみです！！まえ
前の日にあす
明日何をなつく
作ろうかな～ってりょうり
料理の本をみかんが
見てかんが
えたり、どのしーでいー
C Dをもっていこうかな～ってかんが
えたり、にもつ
荷物をしたくしたり、い
つもわくわく
します！！そしてたいけん るーむ
体験ルームの部屋のかぎ
を自分であけて部屋の
どあ
ドアをあけるとき、きや
『キャ～～』ってきぶん
になります！！



じぶん
自分のじゆう
自由な時間をす
好きなようにかんが
えてへる ばー
さん
てつだ
に手伝ってもらってす
過ごせるたいけん るーむ
体験ルームはわたし
『私だけの私
いえ
の家』みたいでだいす
大好きです！！

またつぎ
次にと
泊まるひ
日、はや
早くこないかな～～！！

たいけん るーむ りよう
「体験ルームを利用して」

たけ その み
武 園実

こんかい がっ にち たいけん るーむ りよう
今回は1月24～29日まで体験ルームを利用させて
もらいました。

がっ まいつきりよう な
これまでも10月から毎月利用していたので、慣れてき
て初めて行ったときの1週間よりは多少楽でした。
にっすう なが すこ じかん よゆう おも
日数も長いし、少しは時間にも余裕あるかなと思いきや、
いそが お
忙しいまま終わりました^^；

いちおう こんかい よてい ぶっけんさが あいえるびー う
一応、今回の予定は物件探しとILPを受けることでした。
あいえるびー せいど せいかつひ ふどうさんや ちよくせつ い
ILPでは制度のことや生活費のこと、あと不動産屋に直接行ったりもしまし
た。直接行ったとき、見事に営業の人に捕まり断って出るのにかなり苦労し
ましたが、いい経験になったと思います・・・(笑

ぶっけんさが ようし きにゆう こじま み
物件探しのほうは、用紙に記入したものを小島さんに見て
もらって相談でき、結果的にみつけることもできたので、
よかったです。

い きかんちゆう こうぎこうどう さんか
それと、行っている期間中に抗議行動があったので、参加
できたこともいい経験だったと思います。

さむ ふくしつばい おも
すごい寒くて服失敗したなーとかも思いましたが・・・

こんかい しゅうかん あそ い たの
今回も1週間、遊びに行ってるわけでもないですが、すごい楽しく
過ごせました。これからもいろいろ利用させてもらうことがあると思いますが、
よろしくねが わらい
お願いします^^ (笑

うつわのおおきさ

つる つる てっばん かべ おも ちょつきゅう な おも
ツルツルの鉄板のような壁に思いっきり直球を投げつけたら、思いっきり
ま じぶん ほう は がえ
真っすぐ自分の方へ撥ね返ってくるでしょう。 その壁に少しでも凹みが
あつたらどんな 直球を投げても自分の方にまっすぐ返ってくる事はないでし
ょう。 その凹みが大きく奥が深いものだったらきっとその凹みの中で何度か
は がえ なか うご と
撥ね返り、やがてはその中で動きを止めることでしょう。

ちょつきゅう ひと げんどう へこ ひと こころ お か かんが
直球＝人の言動 凹み＝人の心 に置き換えて考えてみてください。
だれ なに い い かえ じぶん う おな しょうげき
誰かに何か言われてそのまま言い返し、自分が受けたのと同じくらいの衝撃を
あいて かえ てっばん こころ ひにく ま ま あいて
相手に返している鉄板のような心、ちょっと皮肉交じりでも真っすぐには相手
にかえ ちい へこ こころ なに い じぶん なか う と
に返さない小さな凹みの心、何をされても言われても自分の中で受け止め、
けつ あいて こうげき おお おお うつわ こころ
決して相手を攻撃しない大きな大きな器の心・・・

うつわ おお とき ばあい なか もの つ
器が大きくなっても時と場合によっては中にいっぱいモノが詰まってしまい、
いつもは受け止められるのに、撥ね返ししてしまうこともあるでしょう。

な おも ちょつきゅう じぶん な は
もしかしたら投げつけられたと思っていた直球は自分が投げたものが撥ね
がえ だれ むいしき ぼー な
返ってきたのかもしれない・・・誰もが無意識にボールを投げているから。
な あ
投げたつもりもないのに当たっていたのかもしれない。

ちょつきゅう な こと い たま う と じぶん
直球を投げつけた事をとにかく言うより、その球を受け取れなかった自分
うつわ ちい こと め む ゆういぎ こと
の器が小さくなっている事に目を向けるほうがどれだけ有意義な事か。
いつのまにか溜まっていたゴミ、いつ どうして？
それを少しずつでもとりのぞいてあげたら、きっと次の球は受け取れるはず。

かんが で き
そしてみんながこんなふうに考えることが出来たらきっと
へいわ
平和なことだろう。

わたし おお にんげん
私はうつわの大きい人間になりたい。

いちかわ ひろ み
市川 寛美

ヘルパーさんたちのあそびば

だいじゅうよんかい みやの しずか 第十四回：宮野 静香

こんにちは。私にもヘルパーさんを派遣してもらいたいなあーなんて不謹慎なことを考えてしまうヘルパーの宮野静香です。ステップには2年前からお世話になっています。普段は家業の仕事をしているので週一回一件だけお仕事させてもらっています。

家業だけをしていると狭くなりがちな世界がステップや介助に関することで拡がり、楽しかったり面白かったり考えたり…。私に介助ができるかなあと不安はつきものですが、利用者さんに助けられ、自分を助けながら頑張ってみようと思う次第です。

自分を助けるというのも利用者さんのためになるのですが、指示された際に「はい、わかりました」などの返事よりも指示の内容を簡単に復唱して返事しています。「黒いくつ下を持ってきて」なら「黒いくつ下ですね」と返し、「おフロを洗って洗濯をセットして、ケータイの充電をして」など3つ4つまとまった指示なら、「おフロと洗濯と充電」など返事するようにしました。利用者さんにも指示が伝わったか確認できますし、間違っていれば行動する前に正してもらえます。また自分への言いきかせにもなります。

聞き間違いの為に失敗した事があるので反省しこんな風にしています。利用者さんに悔しい思いや辛い思いをさせてしまうとお互いの精神の健康に良くないので1つでも失敗を減らしたいと思っています。

あまりしつこく聞き返したり何度も間違えてはストレスになっているので、やはり最初から利用者さんにだけでなく気持ち・心も傾けて、何を仰りたいか伝えたいか、もし自分が相手だったならと考え行動として応えられるようになりたいものです。利用者さんからみるとどうでしょうね??これは私なりの理想ですけど。理想に達した時は介護される年だったりして…。ノンキすぎるでしょうか(^_^;)

介助をさせていただけて生活の工夫で楽しいこと感心することは多いのです

が^{じじょぐ}自助具もまた^{わたし きょうみしんしん}私は興味津々です。自助具^{じじょぐ}によってどうにかして^{せいかつ}生活をひとつ
便利^{べんり}にしよう、快適^{かいてき}にしよう、たばこ^すを吸おうなどの欲求^{よつきゅう}を満たせた^{とき}時の
達成感^{たっせいかん}…。ほっと安心^{あんしん}するのでしょうか、時間^{じかん}も左右^{さゆう}する。そういった自助具^{じじょぐ}の
工夫^{くふう}された物^{もの}を見るのも知るのも楽しく、実際^{じっさい}に作^{つく}らせてもら^{かんが}うと、考えてい
る過程^{かてい}も楽しい！器用^{きよう}ではないので満足^{まんぞく}する、満足^{まんぞく}していただける物^{もの}はなかな
か出来^{でき}ませんが、利用者^{りようしゃ}さん達^{たち}の苦勞^{くろう}や不自由^{ふじゆう}不満^{ふまん}を知る、願^{ねが}いを知るきつか
けにもなるので、これからも挑^{ちょうせん}戦^{せん}してみたいコトです。

というわけでステップにはこんなもおとです。

今後^{こんご}ともよろしく願^{ねが}いしますばい！



ヘルパーさんたちのあそびば

だいじゅうごかい はせがわ そう 第十五回：長谷川 宗

こんにちは、ヘルパーの長谷川です。STEPで働くようになって二年目、とうとう、このページを書くことになってしまった。文章を書くのは苦手だ。困った、書くことも無いぞ。う～ん、ほんとに困った、どうしましょう……。書くネタが思いつかないので、私のつたない知識で海について少し書くことにします。なぜ、海？と思われる方が多数いらっしゃると思います。私は、趣味で、と言っても最近仕事になりつつあるのだけど、スキューバダイビング（一応、ダイブマスター）をしているので書きやすいと思い海にしました。みなさんは、海に対してどのようなイメージをお持ちですか？私は、広くて大きく綺麗で楽しく癒される場所。その反面、危険で怖くて、一歩間違えれば死に直結している場所、こんなイメージです。でも、海というところが、どういうところか解っていればとても楽しく過ごせると思うのです。少しでも、そのお役に立てればと思い書きます。

最初は、風です。風は、気圧によって生じます。気圧には、天気予報などでご存じのように高い部分と低い部分があります。この、気圧の高いところから低いところへの空気の曲線的な移動が風です。空気の流れは、地球の自転の影響で一定の曲線を描きながら移動します。風は地表部で地形や建物の影響を受け、さらに複雑に曲げられたり向きを変えます。気圧の高低差が大きくなれば風も強く吹きます。気圧配置ではなく、上昇気流によって吹く風もあります。日中、太陽光線によって暖められた陸地から上昇気流が立ち上がり、海から陸地へ向かって強い風が吹くことがあります。この、海から陸地向かって吹く風をオンショアといいます。オンショアは海の表面にうねりをつくり、沿岸部で高い波が立つことがあります。逆に、陸地から海に向かって吹く風をオフショアといいます。海で遊ぶ場合は、このオフショアに気を付けてください。オフショアは、基本的に陸地から沖に向かって吹く風なので、風に押されて陸地に戻ってこられなくなる可能性があるのです。沿岸では海・陸風が吹く

ときは好天気であり、また、朝から昼にかけて風が強くなり、それから夜にかけて弱くなるときは一般に好天気が期待されます。地域によっては特定の方向から風が吹くと天気がくずれるところもあります。

今度は波です。風によって発生したうねりが沿岸に伝わり、沿岸部や海底の地形の影響で変化したものが波です。海底がゆっくりと長い距離をかけて均一に浅くなる場合、うねりは徐々に小さくなり、パワーとスピードを落としながら岸に到達します。海岸線付近は、沖からきた波が底に沿って沖へ戻って行くのが引き波です。この引き波で足元をすくわれることがあるので気を付けてください。

つづいて、潮の満ち引きについて。潮の満ち引き（干満）は、太陽と月の引力によって起こるといわれています。太陽と月と地球が一直線上に並ぶとき（新月・満月時）が、両者の引力が最大となり潮の干満の差がもっとも大きくなります。

これを、大潮といいます。この大潮から次の大潮までの間で干満の差がもっとも小さくなることを小潮といいます。干潮と満潮の入れ替わる（約6時間毎）ときに生じる流れを潮流といいます。潮流は、陸地や海底の地形

に大きく影響され、複雑な流れとなります。また、陸地や島に挟まれたような狭い水路では流れが速くなり、部分的に渦が発生させたりします。沖から海岸線へ向かう一定の波が海岸線にぶつかって引き返す際に、水路や海底にある岩の影響で一カ所に集まり、強い流れとなって沖へ流れる潮流をリップカレント

といいます。表面的には明確にリップカレントとして見てわからないので、沖に流されから慌てて気づくことが多いです。リップカレントの幅は10m前後

から400～500mの場合もあります。もし、自分がリップカレントに乗って

しまったと思ったらむやみに岸に向かって泳がずに、岸と平行に泳いで流れから抜け出すことを考えましょう。リップカレントは、見つけるのは難しいです

が、砂浜が沖に向かって突き出た場所や波が砕けていないで、濁った水が沖に

向かって流れている所は、リップカレントがある目安になります。もうひとつ

並岸流（ロングショアカレント）というのがあります。並岸流とは、長い直

線上の海岸線へ沖から向かってくる流れが海岸線にぶつかった後に海岸線と

平行の方向に流れる潮流のことをいいます。岸に近いからといって安心して

いると、遠くまで流されてしまうことがあります。

このように、海には事故につながる要因がたくさんあります。これで、少しで

も海について知っていただき遊びに行ったときに事故もなく、みなさんが

楽しく過ごすことができれば幸いです。

さんこうぶんけん
参考文献:

「レスキュー・ハンドブック」(山と溪谷社)

「レジャー・スキューバ・ダイビング～安全潜水のすすめ～」(成山堂書店)



かいふんぼうしゅう
会員募集

STEP えどがわは、STEP ポリシーとSTEP 訓の下、障害者の自立生活に係わる様々な問題に取り組み、ひいては地域に根ざした社会貢献団体になることを目指しています。

つきましては、当法人の活動趣旨にご賛同いただける皆様に会員(正・賛助)になっていただき、共に自立生活センターSTEP えどがわを支え育て下さる仲間を募集します。

正会員(正会員は、当法人の定款に定めた総会に参加できます)

・登録料 5,000円(入会時のみ)

・会費 5,000円/年

サポーター会員(賛助会員)

・個人 1口 3,000円/年(1口以上)

・団体・法人 1口 10,000円/年(1口以上)

会員には、当法人の刊行物、イベント案内チラシ等を送付致します。

会費納入先

<郵便振替> 自立生活センターステップえどがわ No. 00110-0-579238

<銀行口座> 特定非営利活動法人自立生活センターステップえどがわ

東京三菱銀行 瑞江支店普通 0548550

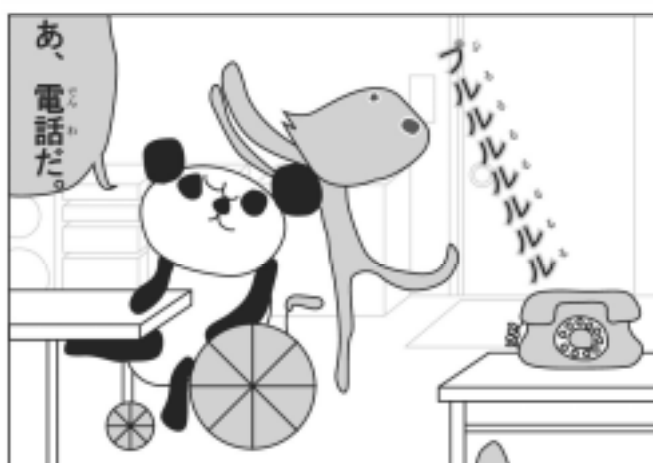
よくあるお話。

いぐち まなぶ
井口 学

ヘルパーと上手く
やって行くコツ…、
そりゃ
気合いよ、
気合い。



で、んわ



あ、電話だ。

ブルブルブルブル



ヘルパーさん、
電話～。

おど
踊ってんじやねえよ。



雷電

電

ヘルパーさん。

電話。へルハ

電話
出ろよ!

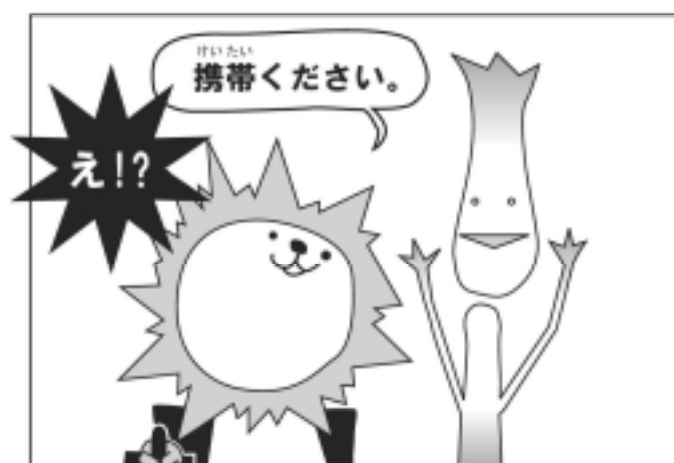


なりんだ、電話に出ろってことかあ……ちやんとそう言って下さいよ。

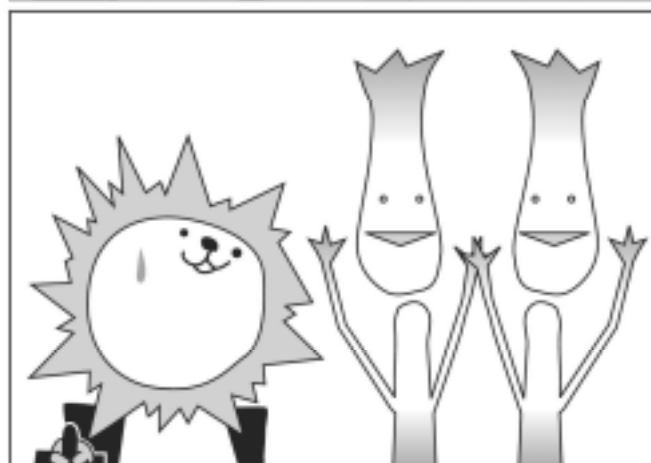
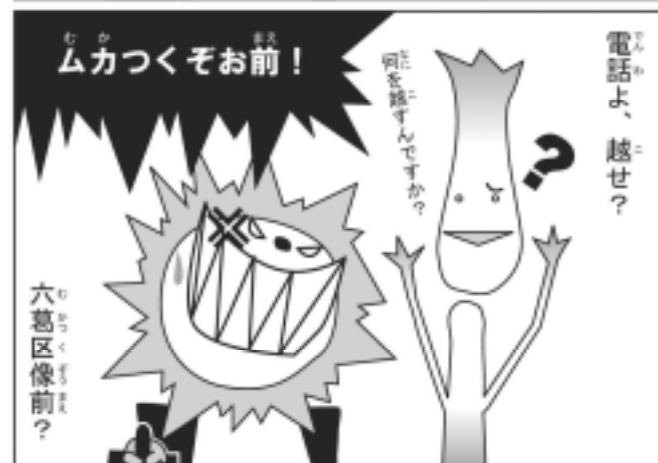
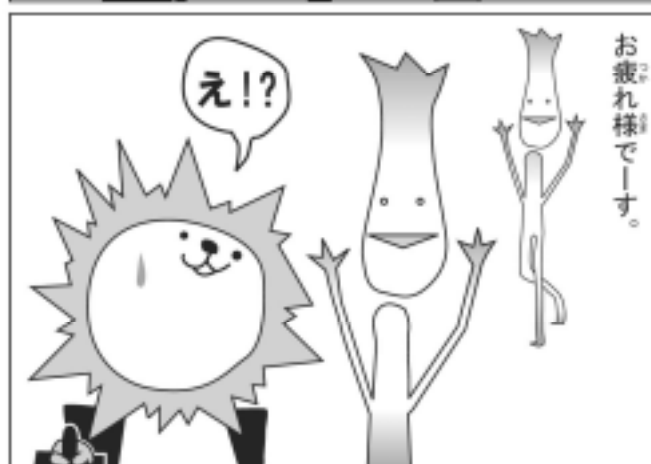
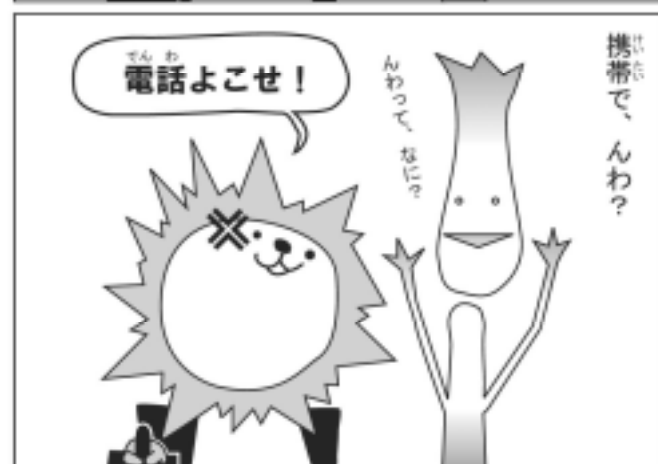
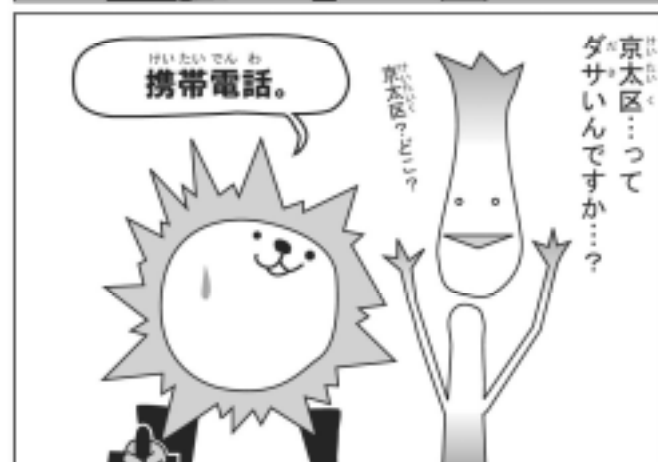
「お、切れた
かしら。あ、
かと思いきや
何となくんのか」

なん
何でもかんでもいちいち
せつめい
説明しないとわからない
ひと
人、いるよね。

携帯で、んわ



ひとりじゃないのよ。



活動報告

がつ がつ がつちゅうじゅん かつどうほうこく
1月/2月/3月中旬 活動報告

- 01/04 スタッフミーティング
- 01/05 理事会
- 01/06 無料相談
- 01/08 パーソナルアシスタンスフォーラム参加
- 01/11 スタッフミーティング
- 01/13 個別 I L P
- 01/18 スタッフミーティング
- 01/19 D P I 東京参加
- 01/20 障害者ケアマネ研修
- 01/21 佐野さんの話を聞く会参加
- 01/24 江戸川養護学校進路授業
- 01/25 スタッフミーティング
- 01/27 障害者ケアマネ研修
- 01/28 厚労省前 全国大行動
- 02/01 スタッフミーティング
- 02/02 個別 I L P
- 02/03 無料相談
- 02/04 個別相談
- 02/05 個別相談
- 02/07 江戸川養護学校進路授業
- 02/07～09 障害者ケアマネ フォローアップ研修
- 02/08 スタッフミーティング
- 02/09 個別相談
- 02/10 研修担当者会議／個別 I L P
- 02/14 江戸川養護学校進路授業
- 02/15～16 厚労省前 全国大行動
- 02/18～20 20時間研修
- 02/22 スタッフミーティング
- 02/24 個別 I L P
- 02/25 ヘルパー研修会



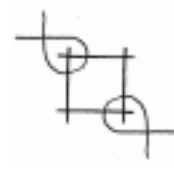
- 03/01 スタッフミーティング／社員スタッフ研修会
03/06 I L P 調理プログラム (第一回) 開催
03/08 スタッフミーティング／理事会
03/09 障害者自立支援法勉強会 参加
03/11 I L P 「24時間介助について」参加／個別 I L P
03/13 I L P 調理プログラム (第二回) 開催
03/14 個別相談
03/15 スタッフミーティング
03/18 厚労省前 全国大行動
03/20 I L P 調理プログラム (第三回) 開催
03/15 ガイドヘルパー講習会
03/15 スタッフミーティング
03/22 スタッフミーティング
03/23 D P I 東京参加
03/24 個別 I L P
03/27 I L P 調理プログラム (第四回) 開催
03/29 スタッフミーティング

ねんじぎょうかつどうよてい
2005年事業活動予定

- 04/05 お花見の会
04/24 シーティングセミナー開催

☆その他、決定次第お知らせします。



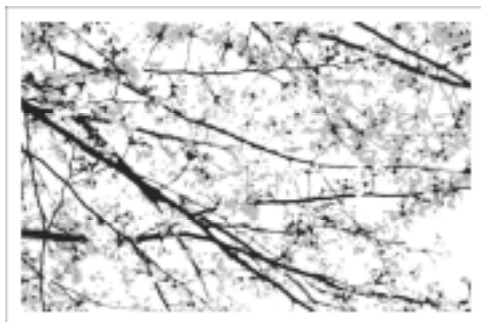


編集後記

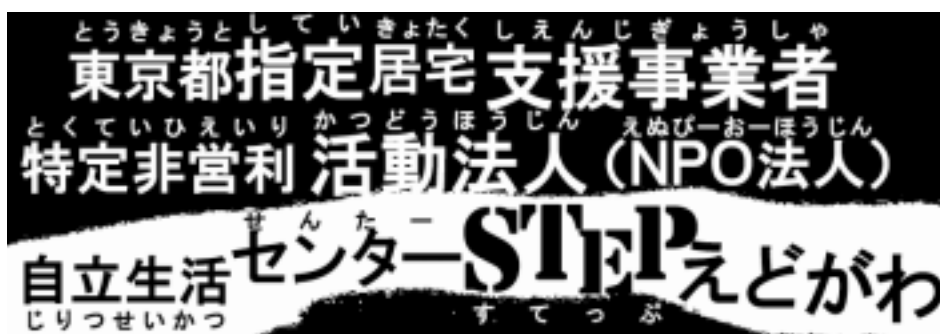
へん しゅう こう き

今回もご愛読頂き、ありがとうございます。最近、お台場で美味しい和食のお店を見つけました。とても庶民的な定食メニューが豊富で、お値段もまあまあお手頃！何より気に入ったのは、ご飯の種類が選べる！ひじきご飯、じゃこご飯、とろろご飯、白ご飯、大盛り、小盛り…。あんまり食べられない私は、とろろご飯の小盛りにしました。やっぱり、自分で悩んで選ぶのって、美味しい、サイコー！自立生活って、こういうことかな？！

支援費の動向、障害者自立支援法など、私達の自立生活が脅かされようとする国の政策の中、それでも私達は地域生活を守り、さらに確立していく為、今年も運動していきます。もちろん、皆さんと一緒に。どうぞ今年も宜しくお願い致します。



へんしゅう
編集：



〒133-0065

東京都江戸川区南篠崎町3-9-7 1F

tel : 03-3676-7422

fax : 03-3676-7425

step-e@technowave.ne.jp

http://www.nextftp.com/step-e/

